

「予選突破」を目指して!

御所浦北中学校 (御所浦町)
2年 竹下真由

御所浦北中学校バレーボール部は、11人の少ない人数です。夏休みに、いろんな大会での「予選突破」を目標に立て、それを達成するために日々の練習に励んでいます。2年生が少ないので、1年生が試合に出なくてははいけません。また、1年生は試合になれていなくて、この「予選突破」というのは、すぐに達成できないかもしれません。それでも、2年生がいちばん声を出して、1年生を支え、チームで力を合わせてこの「予選突破」という目標を達成したいです。

そして、保護者や毎日指導して下さる先生に感謝し、1日1日の練習を大切にしながらがんばっていきたくです。



みんなががんばって「予選突破」を目指します!

ぼくのわたしの
学校部活
自慢



熊本県吹奏楽コンクールでの1枚

吹奏楽団でがんばっていること

五和東中学校 (五和町)
2年 澤井聖香

五和東中学校吹奏楽団は、部員数16人で活動しています。7月26日に県立劇場で行われた「熊本県吹奏楽コンクール」では、金賞を受賞することができました。来年はさらに良い演奏を目指して、技能面だけではなく、元気のいい返事やあいさつを大切に、日々の練習を一生懸命に、そして楽しみながら取り組んでいきたいと思っています。

今は、3月に行われる定期演奏会に向けて、さまざまな曲を練習しています。今年度は、定期演奏会が35回目という節目の年になります。皆さんに楽しんでもらえるような演奏ができるように、これからもがんばりたいと思います。

地域づくり
コーナー

人が動く
地域が動く
天草が動く

活気あふれる地域づくりに
一丸となって取り組む

下田北地区振興会 (会長 古賀源一郎)

下田温泉は、天草最古の天然温泉として知られており、多くの観光客や湯治客でにぎわってきました。しかし、近年は観光客が減少し、旅館や商店では危機感を感じているところ。このような中、下田北地区振興会では、昔の活気を取り戻そうとさまざまな事業を行っています。中でも、温泉の恵みに感謝する「下田温泉祭」は、振興会を含む地元有志が実行委員会を立ち上げ企画・運営をしています。内容は年々変化していますが、大正時代から続いている歴史ある祭りでも、お湯かけ神輿は親子2代で担いだ人もいます。

これからも、さまざまな活動を通して天草「下田温泉」を発信し、地域一丸となって活気あふれる地域づくりに取り組んでいきたいと思っています。



▲ウォークラリー大会のようす

また、今年初めての試みとして、地元の人を対象に地区内にある史跡や施設などを巡

宝島の健康
よさげ屋

金子武子さん
(諏訪町・85歳)



◆毎日の楽しみは?

司法書士になって44年。県内にいる最高齢の女性司法書士として、毎日仕事をするのが楽しみです。また、趣味で詩吟をしていて、月に3回の教室に通うのも楽しみのひとつですね。

◆健康の秘けつは?

お風呂に入るのが好きで、毎日朝と夜に入浴し手や足のマッサージをしています。また、昔から食事は適量を心がけているほか、仕事でいろんな人と話をするのも健康にいいのかもしれない。



若っ喝采

川田颯一郎さん (有明町上津浦・19歳)

4月から地元の農協に勤務していて、窓口業務を担当しています。今、いちばんの楽しみは、休日に行く車でのドライブ。ただ、同年代の若い人たちが天草から都会に出ていってしまったので、さみしいです。もっと若者が、「宝島天草」に残ってくれることを望んでいます。

思いやりを持った元気な南っ子に

南保育園 (南新町)

本渡地区の中心部にある南保育園 (西田實取園長・全園児78人) では、つよく (心も体も強い子)、あかるく (遊びの中で人間性を身につける子)、かしこく (遊びを作り出す・話せる子) をモットーに、自然の中でいろんな体験をしながら外遊びを十分に楽しんでいます。10月のいも掘りでは、泥んこになっておもを掘ったり、虫を探したりしました。掘ったおもは給食のメニューとして登場したり、クラスでは「おもクリーム」を作りマフィンやビスケットにデコレーションをして、おいしく食べました。子どもがみずから食育の体験活動をする事によって、健康な心と体、命の大切さなどについて学んでいます。



おもたくさんとれたよ!!

このゆびとくまれ



かずらで遊ぶ子どもたち

自然の素材をいかした遊び

もぐし保育園 (牛深町)

もぐし保育園 (福岡得史園長・全園児65人) では、子どもたちみずから考え、くふうして遊ぶことを通して、創造力豊かな子どもを育てる保育に取り組んでいます。園では、このような保育を実践するため、ブランコや鉄棒など既製の遊具を撤去。今では水や木、土、石など自然の素材をいかした遊びが実を結びつつあります。散歩や裏山に行ったら、どんぐりの実やかずら、落ち葉などを拾ってきて、素材の持ち味をいかしながらくふうして遊ぶものを作ったり、造形活動の材料にしたりと、子どもたちはすばらしい創造力を見せてくれます。これからも、考える力を養い、創造性豊かな子どもに育つような保育を目指します。